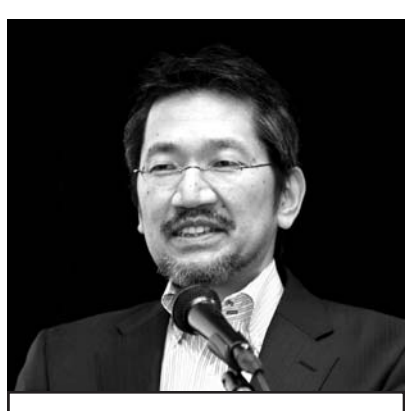


IVI 公開シンポ 2016 — Autumn —



IVI 理事長
西岡 靖之 氏
(法政大学)

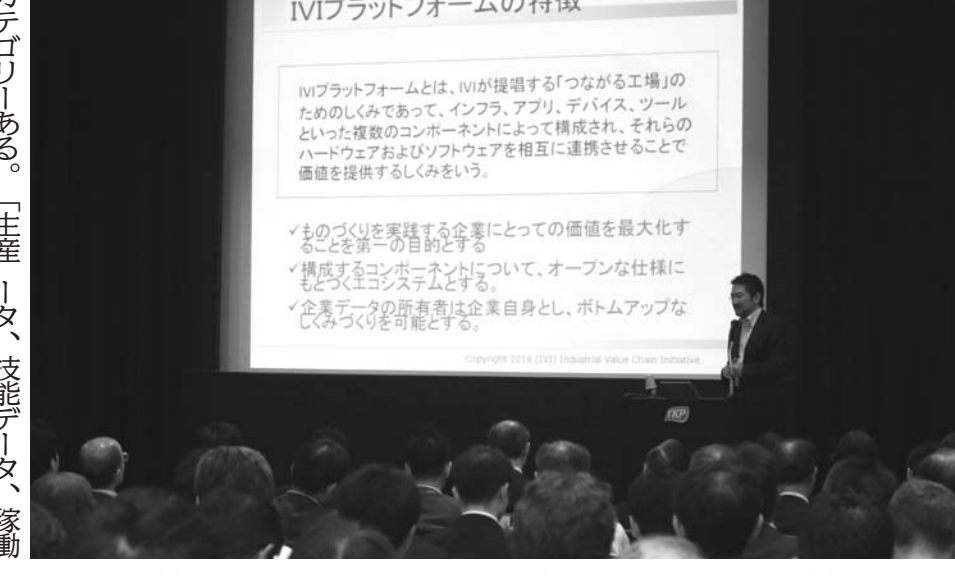
なぜプラットフォームが重要なのか。いわゆるモノからコトへ、製造業のサービス化といった大きな流れの中で、コトのつながりには境界がないのだから、プラットフォームが重要な役割を果たさなければならない。IVIプラットフォームは、IVIが提唱する「つながる工場」のための仕組み。インフラ、アプリ、デバイス、ツールなど、複数のコンポーネントで構成され、それらのハードウェア、ソフトウェアを相互に連携させることで価値を提供する仕組みだ。

製造業による製造業のための「つながる工場」プラットフォームのビジネスモデル—加速するIoT時代を突っ走れ!

形にするために必要なITの仕掛けがプラットフォームというところだ。プラットフォームは、それぞれのプラットフォームを要件仕様のバリエーションを作った。その背景には共通アーキテクチャがある。これを使って、プラットフォームがそれぞれに対応するプラットフォームを構築し、そのプラットフォームを適用する。業務シナリオは、このプラットフォームを適用する。業務シナリオは、このプラットフォームを適用する。業務シナリオは、このプラットフォームを適用する。

8カテゴリーで効果検証

こうした仕組みが回るプラットフォームは、生産現場で得られる品質データをもとにQC/Dを改善するためのプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。



「つながる工場」は、IoT時代の製造業を加速させるためのプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。人と技術の共有を促進するプラットフォーム。

困りごとの解決手段検討

IVIは2016年度の業務シナリオワーキンググループ(WG)について、12のカテゴリーで取り組んでいる。各メンバーから集めた困りごとを参考に、それを解決するための具体的な業務シナリオを作成する。各シナリオは、何が課題となっていて、どうすれば解決できるか手段を検討し、実証実験に臨む。

16年度ワーキンググループ活動

- PF01「生産技術情報プラットフォーム」(山本泰司氏「シームス」)
- PF02「現場情報管理プラットフォーム」(川電機)
- PF03「計画実績連携プラットフォーム」(矢崎電業)
- PF04「企業間連携プラットフォーム」(前報の共有と企業間連携)
- PF05「企業間連携プラットフォーム」(川内展宏氏「ITコーディネータ協会」)
- PF06「予知保全プラットフォーム」(池田和史氏「東芝」)
- PF07「設備管理プラットフォーム」(千葉勝久氏「東芝」)
- PF08「保守サービスプラットフォーム」(柏田淳一氏「アビームシステムズ」)
- PF09「自社製品販売後のサービス付加価値向上」(NEC)

シンポジウムでは各WGの代表者が中間報告として、AS-IS(現状)とTO-BE(今後の目標)とを対比して、IoT活用後の目指す姿、それぞれのシナリオ、今後の進め方などを紹介した。また、カテゴリーに対応する関連PFのファシリテーターが、それぞれのPFWGの状況を報告した。

16年度ワーキンググループ活動

- PF01「生産技術情報プラットフォーム」(山本泰司氏「シームス」)
- PF02「現場情報管理プラットフォーム」(川電機)
- PF03「計画実績連携プラットフォーム」(矢崎電業)
- PF04「企業間連携プラットフォーム」(前報の共有と企業間連携)
- PF05「企業間連携プラットフォーム」(川内展宏氏「ITコーディネータ協会」)
- PF06「予知保全プラットフォーム」(池田和史氏「東芝」)
- PF07「設備管理プラットフォーム」(千葉勝久氏「東芝」)
- PF08「保守サービスプラットフォーム」(柏田淳一氏「アビームシステムズ」)
- PF09「自社製品販売後のサービス付加価値向上」(NEC)



このシンポジウムは、製造業のIoT化を加速させるためのプラットフォームの活用について、各WGの代表者が中間報告として、AS-IS(現状)とTO-BE(今後の目標)とを対比して、IoT活用後の目指す姿、それぞれのシナリオ、今後の進め方などを紹介した。

